

THE KOBECCO 7

JULY 1979 NO. 219 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第3種郵便物認可

昭和54年7月1日印刷 通巻219号

昭和54年7月1日発行 毎月1回1日発行



BENIYA

燃える夏に
ひるがえ
美しさよ翻れ！

しなやかに、そしてちょっと色っぽく
あなたを翻さずにはおかない「ベニヤ」
のあざやかなコレクション。

シティ感覚で自由な着こなしから楽しめる
リゾートウェアを中心に、サマーファッ
ションのかずかずかずかずかずかずかずかず
の今までそろいました。
この夏、あなたがきっと出合うすてきな
できごとを予感させるかのようなサス
ペンスな色とデザイン。

燃えたいあなたをかきたてる夏のあら
しです。

LADIES SHOP
Beniya
the ladies fashion of the four seasons. creative beniya

エルベ店 - 神戸市生田区三宮センター街1丁目センターブラザ1F 1F・2F ☎ 332-2829 KOBE・OSAKA・TOKYO



夏を彩るタオルたち



〈豊かなタオルライフ〉
クオリティライフの提案です
神戸発、カネボウベルエイシー
よりおくる9つのブランド

Jacqueline KARLSON
Christian Dior
PLAYBOY
HANAE MORI
Felix Bühler
Vega original
MOCKMOON
Calliope
mia original



生活空間のコーディネーター
カネボウベルエイシー株式会社

本社 神戸市生田区三宮町1-17-4セターラ先駆
〒650 TEL. (078) 392-2101㈹

東京本部 東京都港区南青山3-1-1, 3 口青山ビル
〒107 TEL. (03) 403-3421㈹

札幌販賣事務所 札幌市豊平区中の島1条10丁目1-1
TEL. (011) 822-9581

西日本販賣神戸支店 神戸市生田区三宮町1-17-4セターラ先駆
〒650 TEL. (078) 392-2101㈹

福岡支店 福岡市中央区東院2-14-28
〒810 TEL. (092) 751-6911

バスケット / 磯川工芸店

サファイア

涼風そよぎ・藍・鮮やかなりき



宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に応

じておりますのでお気軽にご利用下さい。

定休日は水曜日です

スケッチブックから
●僕の見た神戸

（7）ポートタワーの前にて

絵・西村 功



盛夏



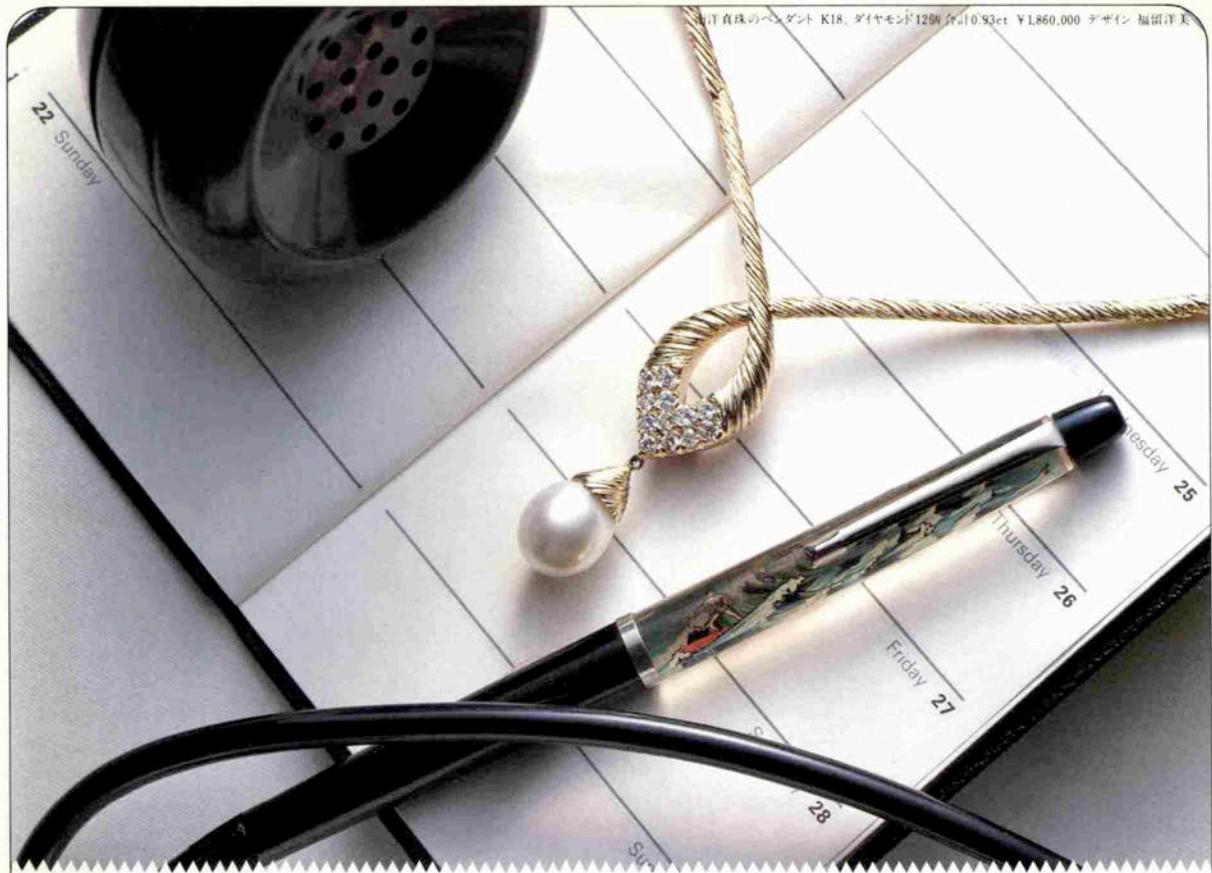
暑中
お伺い申上
げます



神戸割烹

お可心

〒650 神戸市生田区北野町1 丁目115-2 ☎神戸(078) 222-3511代



Designed By Tasaki

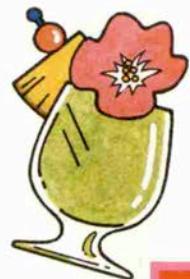
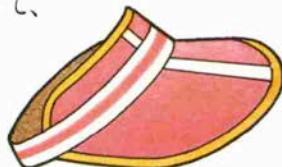
女性のスケジュール表はいつだって、愛するひと会う時間が最優先されますね。田崎真珠

札幌・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡・香港・お問い合わせご希望は、〒100 東京都千代田区永田町2-4-3永田町ヒルズ内田崎真珠販売会館TEL 03-580-1688までご請求ください。◎あなたの真珠はパールマークの店です。



南からの風、小麦色だって。

グラマラスな健康美を發揮させましょう。
もう、毎日がリゾート気分。大丸から
常夏のメッセージにのせて、
'79サマーのすべてを
お届けします。



- サンダル・バッグ・アクセサリー——1階
- リゾートドレス・サマーカジュアル——2階
- スイムファッショ・スポーツウェア——3階



神戸もとまち
大丸
(078)331-8121

英語力を活かして

荒牧保子

(第9回代表クイーン神戸)

カメラ・米田定蔵

言葉使いや仕草に育ちの良さを感じられるお嬢さん、カメラを向けるとキュッと口元に力が入る。三人姉妹の末っ子で一番上のお姉さんもかつてクイーン神戸に選ばれた。二人のお姉さんは考えてから行動するタイプだが、保子さんはまず行動に移して後で考える方だとか。取りつきにくい美人というより、明るく話しやすい可愛い女の子。松蔭女子中高時代には、ソフトボール部に籍を置き、甲南女子大へ入つてからはESSで二年間活動した。昨年の六月からは四ヶ月間アメリカ留学の機会があり、日常生活の英会話はこなせるようになった。保子さんには将来、航空会社に勤めたいという希望があり、そのためにも英語の勉強を怠らない。親元を初めて離れた留学で両親の有難みとか、自分の欠点がよくわかつたといった。代表クイーンに選ばれて、数々の公式行事や、使節団として海外へ出かけることは自分にとつて大きなプラスになると思うし、生まれ育つた神戸のことについても、勉強すべきことが一杯あると……。

お茶、お花、習字を稽古中。他に写真を撮るのが趣味。野球は巨人ファン。芸能界で好きな男性は石立鉄男や水谷豊。夏はミニスカートが好き——そういうえばチラッと見えた脚の線が綺麗でした。甲南女子大英文科四年。(東灘区在住)





•世界の子供とお弁当

ブラジル

こんにちわ
ボン・ジーア

ブラジルと神戸のお付き合いは70年前のブラジル移民船第1号が神戸の港を出航した時に始まります。以来リオとの姉妹都市提携、神戸まつりのサンバパレード等々親密な関係に。

そういうブラジルのお弁当はチキン、ポテトサラダ、とうもろこしから作るパスタ、(しっぽも耳も食べてしまう)ローストポーク、それにお国柄豊富な果物と、どことなく南国情熱を感じるもの。

写真のグスター(右)とイスマーはリオ生まれの神戸育ち。灘区在住



神戸肉を使った肉メシ600円



神戸・新神戸・六甲道

淡路屋

〒650 神戸市生田区相生町2

☎ (078) 351-1682

古楽器に魅せられて

北山 隆

（古楽器奏者
大阪音楽大学助教授）

カメラ・米田定蔵

六月十四日、神戸文化ホールでリサイタル「黄金の十八世紀リコーダー、フルート名曲選」を開いた北山 隆さん。一九四三年芦屋生まれ。芦屋高校時代にブラスバンドでいろんな楽器に触れ、同時に参加していた大阪ジュニアオーケストラで一緒になったのが、現在テレマンアンサンブルでタクトを振る延原武春氏。音楽の道へ進むきっかけになつている。延原氏とともにテレマンアンサンブルを結成し、活動を続けながら昭和四十五年に第一回リサイタル。この年大阪文化祭賞、音楽クリティッククラブ賞を受賞。昭和四十九年大阪国際フェスティバル協会の海外派遣文化交流員として渡欧。以後リサイタルを重ね、今回で第四回目。「単純な楽器だから魅力があるんです」というリコーダーを一般的にさせたバイオニア的存在の人。「次代の人たちが現われてきました。今からはこの人たちに負けないように自分のやれることに挑戦です」と話している。その意味で今回のリサイタルでは難曲に挑み、「技」で勝負した。

「体力のある限り人を楽しませる音楽を続けます。そして、神戸の異人館とかでサロントン風なコンサートを定期的に開きたいんですが……誰かそんな会場を提供して下さらないでしょうかねえ」と頼つていて。（夙川カトリック教会にて）



湯井一葉 パリ祭を唄う

’79

Dinner Show

Le 14 Juillet

期日 7月13日(金)・14日(土) 6:30PM～

料金 お1人様 ￥12,000(ディナー、テーブルチアーズ)

料理 フルコースディナー(2Fレストラン)



ショータイム：第1回 7:30PM 第2回 9:30PM
1F ナイトクラブ

※前売券発売中、お早目にお申し込み下さい。

プラン ドゥ ブラン パリ祭

期日 7月12日本～14日土
9:00PM～10:00PM

料金 お1人様 ￥6,000
(お料理、税、サービス料込)

料理 ピエール料理(立食スタイル)

エンターテイメント フランス映画とエドウトーンの弾き語り
お楽しみ抽選会

※前売券発売中、お早目にお申し込み下さい。

レストラン
神戸 ブラン ドゥ ブラン

年中無休
駐車場有

ナイトクラブ・レストラン

神戸 北野 クラブ

神戸市生田区北野町1丁目64 TEL(078) 231-2251

レストラン

神戸 ブラン ドゥ ブラン

神戸市生田区京町77-1 神栄ビル7F TEL(078) 321-1455

私達は愛する 海を守りたい

出逢いを大切に、自然を大切に、命を大切に——以上がこの日本水中写真作家協会のモットーである。

昨春に林攸樹、藤原保之、森田純三の三氏がさんちかで催した水中写真展が反響を呼び、自分達の撮った水中写真の発表の場がほしいという同志二十余名が集まつて、この会が結成された。夏の終わりに開かれた写真展を見てまた会員が増え日本全国より四十五名の海



●ある集い●



JUPA
日本水中写真作家協会

を愛する人々が集まつてている。水中写真は初めてという女性からプロとして15年という人までキヤリアは様々だが、スキンドライバーというだけで気心が通じるようだ。水中撮影は世界中、四季を問わず可能だ。81年を目指して沖永良部島にシートピアを築こうとしている。「自然破壊ではなく、海と魚たちを守ることが信条であることを多くの人に理解してもらいたい」と会長の林氏。夏の写真展へむけて皆、撮影に余念がない毎日だ。

（合わせて34頁もお読みください）



CAFE PLAZA ジャチ (KOBE 大丸6F)

心の通う店創り

nick
KOBE NAGOYA TOKYO

神戸日建

本社(設計室) 神戸市東灘区御幸通3丁目2-20 PHONE (078) 252-1321

神戸事業部 神戸市東灘区御幸通3丁目2-20 PHONE (078) 251-3525(代)

名古屋事業部 名古屋市西区牛島町5-5 PHONE (052) 561-3618

東京事業部 東京都中央区日本橋3丁目2-17 PHONE (03) 278-1369



約150人の招待客を集めてのオープニングでテープカットをする坂井時忠兵庫県知事ら

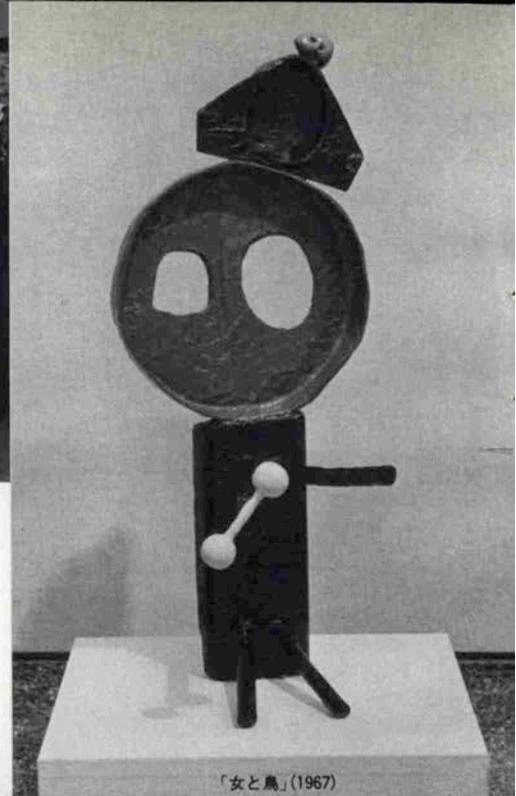


ユーモアと冒険の世界「ミロ展」開催

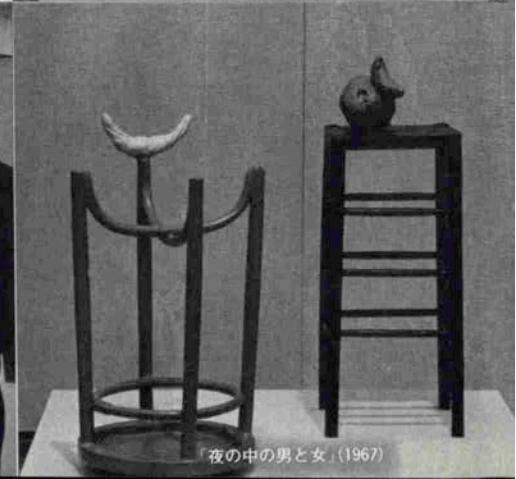
20世紀最後の巨匠といわれる芸術家、ジョアン・ミロの愛と夢と幻想に満ちあふれた彫刻70点、版画46点などの代表作を集めた「ミロ展」が去る5月12日～6月10日、兵庫県立近代美術館で開催され、単純明快、天真爛漫、しかかも才知のきらめきに満ちた作品で、入場者を夢の世界へと誘い、魅了させた。



ミロの夢と詩情に満ちた作品に見入る人たち。左手前の作品は「人物」



「女と鳥」(1967)



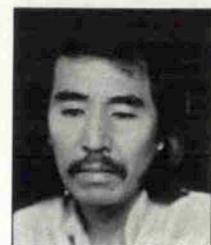
「夜の中の男と女」(1967)

イメージの神戸

〈28〉 奥田

善巳

（美術家）



おくだ よしみ

一九三二年

京都府

に

生ま

れ

一九三二年京都府に生まれる

国際

青

年

美

術

家

展

（日本文化

フ

オーラム賞）

現代日本美術展

（コ

ンク

ル

大賞）

現代国際影劇展（コンクール大賞）

（

ジ

ャ

バ

ン

・ア

ート

・ナ

ウ

78

等に

出

品

今から二十数年前、元町の裏通りは外人バーが密集していて、丁度朝鮮戦争の最中という事もあって、米兵相手の商売で深夜迄大変な喧噪であつた。当時の私は、呼名以外何一つわからぬような連中と、その界隈で過ごしていた。顔見知りの水商売の女達は、濃い化粧と派手な服装、ブローケンな英語で、初めの内は近寄り難く見えたが、親しくなつてみると結構気のいい女が多く、私達と一緒によく遊びまわったものだつた。その中に、全く田舎まるだしで、髪の毛だけトウモロコシの様に染めた若い女がいて、ある時、何かの礼にと小さなリングを二つ、恥ずかしそうにくれたことがあつた。

その後しばらくして、仕事や生活の変化がだんだんとこの地から私を遠ざけ、いつの間にかこの頃のことを思い出すこともなくなつていた。

数年前健康を害してから、あまり酒が飲めなくなつた私は、滅多に夜の街に出かけることもなくなつていたが、先頃珍しく友人達と飲みに出る機会があつた。ハシゴ酒の末、たまたまそのバー街迄来てみると、人影も少なく、路地裏の店はほとんど灯が消えていた。わずかに残つたネオンの明かりの中でボール投げをして遊んでいる二人の女に、安いからと教えられて入つた店も、マダムと若い女が退屈そだつた。飲み疲れてもうあまり飲めなくなつた私達の少ない注文に、気持よく応対してくれて帰り際、「ありがとう」と丁寧に頭を下げてくれたまだ十代だろうと思える女の子の、人の良さそうな笑顔が、一瞬、あのトウモロコシの髪の女の顔と重なり合つて、久し振りに飲んだ酒で少々酔いのまわつた私に、忘れていた二十数年前の神戸の夜を鮮やかに思い出させてくれた。

